

第4分科会

テーマ（子育て支援の拠点としての保育所の機能を考える）

会場（パシフィック沖縄 ワイケレ）

参加者数（108人）

幹事：沖縄県 あい保育園

座長団：長崎県 星の子保育園 / 沖縄県 喜名保育園

助言者：大分県 すがお保育園 / 沖縄キリスト教短期大学 保育科

意見発表者：福岡県 若松コスモス保育所 / 熊本県 合志中部保育園子育て支援センター
宮崎県 大坪保育園

記録：沖縄県 百合が丘保育園 / 沖縄県 すくすく保育園



1. 意見発表趣旨

発表1 「テーマ：子育て支援の拠点としての保育所の機能を考える

- 母親たちの会話の中にみえるもの - 」

「発表園： 福岡県 北九州市立若松コスモス保育所 」

研究の動機・ねらい

…本市は少子高齢化が急速に進行している。一方、女性の社会進出の増加や就労形態が多様化し、保育に関する保護者のニーズも多様化してきた。次世代の育成支援において中核的な役割を図る保育所は幅広いニーズに対応した保育サービスの拡充や子育て家庭への支援の充実により一層の取り組みが求められてきている。…育児に対する不安感が増加している中で、保育所は育児の専門機能を生かし、地域に身近な社会資源の一つとして地域の保育センター的役割を担う必要がある。

事業内容

…当保育所は北九州の7区にそれぞれ1箇所配置された拠点保育所の一つとして平成9年に開所し様々な支援事業を行ってきた。平成19年度には父親と子ども

支援センター室開放・・・水曜日

年2～3回プログラムに“子育てなんでも相談日”を設定。

(合志市の保健師に支援センターに来ていただき、参加者の相談等に対応していただく。また当日参加されていない方で気になる子どもがいる場合は保健師に相談。市外からの参加者でも気になる子どもがいる場合は居住地の保健師と電話などで情報を交換している。)

プレイデープログラム：戸外あそび・室内あそび・親子触れ合いあそび・散歩・保育園の給食試食・運動あそび・身体測定・プールあそび・パネルシアター・製作・クッキング・市保健師による保健相談・歯科衛生士による歯磨き指導・ボランティアによるお話し会・栄養士による栄養相談(食育講座)等

結果及び考察

平成22年から子育て支援センター事業が「地域子育て支援拠点事業」へと改定になるため、対応を模索中。今年度は市との協議の結果今までと同様“小規模型”でいくとの事で進めている。

母親の気持ちに寄り添って“一緒に子育てをしていきましょう”というメッセージを発信し続け、適切な情報の提供や子育てが楽しいと思えるような活動等を通して、子育てをサポートしていきたいと思う。子どもを中心に地域の人々が繋がる絆と連帯を育み強めていく手だてをすることも、子育てライフを支援する保育園の大きな機能と自覚している。

発表3「テーマ：子育て支援の拠点としての保育所の機能を考える

- 子育て支援センター事業実践報告 -

「発表園：宮崎県 大坪保育園」

研究の動機・ねらい

核家族化が進み地域社会の“子育て力”が弱まってきている中で子どもを育てる環境が大きく変わり、育児に対する不安やストレスを抱えながら子育てしている家庭への支援を目的として当園では平成17年10月(地域子育て支援センター)サービスを開始した。

地域子育て支援センターとしての役割を果たす為に2年というわずかばかりの経験だが試行錯誤しながら課題に取り組んでいく。

事業内容

当センターは「子どもは自分で遊びを創りだす」ということを前提にして応答性の高い想像力を育む道具を準備したいと心がけている。

季節ごとの製作活動もコーナー遊びを主体に行い、低年齢から高年齢まで親子で楽しめるものを取り入れている。

子育てサークルの活動・・・火・木 9：30～11：30
サークルに対する指導（専任指導員2人）
ブロック・紙芝居・ままごとあそび・折り紙・お絵かき・シール貼り・手遊び
歌あそび・ペープサート・パネルシアター・リズムマット・つみきマット・トン
ネル・ボールあそび
電話相談・・・月～土 9：00～17：00
面接相談・・・月～土 9：00～17：00
親子体操教室・・・毎月第三火曜日（外部講師）
園庭開放・・・月・水・金・土

結果及び課題

...センターを利用することで母親同士の交流も深まり、互いに行き来し合い助け合う姿も見られるようになった。園側からの視点としては、センター事業の利用者を受け入れることによって職場復帰の事前調査にもなり入園促進にも繋がる。...
...課題としては、地域に密着した子育て支援センターとして民生委員や保健所などの連携を取りながら支援を必要とする家庭へのアプローチをしていく事。...
午前午後を通して利用したい場合、昼食をはさむことになる。軽食等ができるようにしていくと良いのではないかな。...子育て支援に対する園全体の職員の意識共有をすすめる。...センター利用から一時保育に利用移行した場合、行事によっては保護者のニーズに応えられない場合もでてくる。...子育ての関連情報を提供するためには支援事業全般の連携が必要ではないかな。

助言内容（発表園3園）

...とても丁寧で、実践が見れて良かった。人は社会で育てられていくものである。...
...昔ながらの地域の互助が希薄化している現在、社会の変化に対応しもっと幅広く保育士の専門性を生かしながら地域を巻き込んだ保育をすることが大切である。...
...担当だけでなく園全体としての取り組みとし、「対人関係」の援助、親子の支援の方向を見定めながら適切な支援が出来ているか、立ち止まり検討し提供していく事も必要である。...
...子育て支援センターだけではなく、今後“拠点事業”として子育て支援という幅広い形での支援が必要になってくる。その為にはソーシャルワーク的な関わりも必要となってくる。大切な事は、親本意の支援ではなく子どもの利益が確保できなければいけない。保育園内外の子どもの利益を求めるためにも園が地域へ出向く事も必要ではないかな。園へ足を運ばない又は運べない親子への呼びかけや具体的な対応をもっと深く研究していく事も各園共通の大きな課題である。

2. 討議内容

討議のテーマ

(1) 我が園で取り組んでいる子育て支援

討議のまとめ

...まだ子育て支援センターを取り入れていない園もあるが、子育ての支援事業としては多様な形で取り組む事になるだろう。各園の課題としては、子育て支援が必要でありながらも利用していない家庭に対しての働きかけや情報提供の方法を様々な形で取り入れている状況である。受身ではなく地域の子育て支援の拠点である保育所が出向くことがこれから求められていくのではないか。事例として各地域で行われている家庭への乳児訪問(0ヶ月～4ヶ月)へ保健師と共に支援センター担当も同行し現状把握や情報提供を行っている取り組みもあった。.....

